

ゴージャスお宝鑑定家〜「づ」

ん、ゴージャス!」36

登場人物

剛田(こうだ)・・・剛田質店の店主。優雅で品

のある振る舞いが特徴。口癖は「ゴージャ

ス!」

白金(しろがね)・・・剛田質店の見習い鑑定士。

常識人で神経質。剛田に振り回されがち。

謎の依頼人・・・ダイヤモンド製のくるみ割り人

形を持ち込む人物。どこか怪しい雰囲気。

警官・・・剛田質店に現れる警官。事件の捜

査で訪れる。



第一幕：剛田質店の朝

シーン：開店準備

（舞台中央に豪華な内装の「剛田質店」。壁には金色の額縁や豪華な装飾品が飾られている。）

白金が掃除をしている。神経質そうに埃を払う。剛田は

優雅に紅茶を飲みながら登場。

白金（ぶつぶつ言いながら）またこんなに埃が…。剛田さ

ん、もう少し物を整理してくれませんか？

(棚の上の高価そうな壺を拭きながら、壺が揺れてヒヤリとする。)

剛田 (優雅にティーカップを持ちながら登場) 整理? それは美しくない! ゴージャスたるもの、散らかっているくらいが優雅なのだよ、白金君。

白金 (ため息) 剛田さんの「優雅」は、僕の「胃痛」ですよ…。

(観客に向かって) この人、毎日こんな調子なんです。僕、いつか胃に穴が空きそうです。」

剛田 (微笑みながら) おや、白金君。美しさがわからないとは、まだまだ修行が足りないね。ゴージャスたるもの「優雅たれ」だよ! さあ、今日もゴージャスなお宝を迎える準備をしようではないか!

(剛田が大きなジェスチャーで店内を見回す。)



第二幕：ダイヤモンド製のくるみ割り人

形

シーン2：謎の依頼人の登場

（店のベルが鳴り、謎の依頼人が登場。黒い帽子とコート
を身にまとい、何かを抱えている。）

謎の依頼人 （低い声で）こちらに、鑑定をお願いしたい

品があります。

剛田 (優雅に歩み寄り)おやおや、これは何ともゴージャスなご依頼の予感！さあ、見せていただくこうではないか。

(依頼人が慎重に包みを開ける。中からキラキラと輝くダイヤモンド製のくるみ割り人形が現れる。)

白金 (驚きながら)こ、これは…！ダイヤモンドでできたくるみ割り人形ですか！？一体どこから…。

剛田 (目を輝かせて)うん、ゴージャス！これほどの輝き、そしてこの造形美…まさに芸術品だ！

白金 (観客に向かって)いや、ちょっと待ってください。これ、絶対に普通じゃないですよ？僕、今から警察沙汰になる未来が見えるんですけど…。」

謎の依頼人 (不敵な笑みを浮かべながら)どうです？買取価格をぜひ教えてください。

白金 (小声で剛田に)剛田さん、これ、どう見ても怪しいですよ。こんなもの、普通の人が持っているはずが…。

剛田 (白金を制しながら)静かに、白金君！美しさに疑問を持つことは、ゴージャスの冒涇だ！

(剛田が人形を手に取り、慎重に鑑定を始める。)



シーン3：剛田の石言葉熱弁

(剛田がダイヤモンド製のくるみ割り人形を手に取り、目を輝かせながら語り始める。)

剛田 (突然、熱弁モードに入り) 白金君、ダイヤモンドという石が持つ言葉を知っているかね？

白金 (警戒しながら) えっと… 硬い」とか 高価」とか…

剛田 (大げさに手を広げて) ノンノン！それだけではな

い！ダイヤモンドには「永遠の絆」「純潔」「勝利」という石言葉があるのだよ！そして、この輝きは、まるで人生の勝利そのものを象徴しているではないか！

白金 (観客に向かって) 人生の勝利…？僕にはただの高価な置物にしか見えませんか…。」

シーン4：実際に使ってみる

（剛田が突然、何かを思いついたように人形をじっと見つめる。）

剛田（真剣な表情で）白金君、これはただ飾るだけのものではない。実際に使ってみなければ、その真価はわからない！

白金（慌てて）いやいや！そんな高価なものを使うなんて無茶ですよ！壊れたらどうするんですか！

（剛田が無視してクルミをセットし、勢いよくレバーを押し下げる。「パキッ」という音とともにクルミが割れる。）

剛田（感動しながら）見たまえ！この断面！まるでダイヤモンドの輝きが移ったようではないか！

白金（観客に向かって）僕、今度からクルミを見るたびに胃が痛くなりそうです…。」



第三幕：緊迫の展開

シーン5：警官の訪問

(店のベルが再び鳴り、警官が現れる。)

警官 (厳しい表情で)こちらに、最近盗まれた美術品が
持ち込まれているという情報がありました…。

白金 (慌てて)えっ…盗まれた美術品…

剛田 (優雅に微笑みながら)おやおや、これは何ともゴージャスな展開だね。

警官 (ダイヤモンド製のくるみ割り人形を見つけて) それだ！それが盗品です！

(依頼人が慌てて逃げようとするが、警官に取り押さえられる。)

白金 (観客に向かって) ほらね、絶対こうなると思ってましたよ…。僕の予想、100%的中です。」

第四幕：エピローグ

シーン9：日常に戻る

（事件が解決し、再び静けさを取り戻した剛田質店。）

白金 （疲れた様子で）剛田さん、今日は本当に大変でしたね…。

剛田 （紅茶を飲みながら）確かに波乱万丈だったが、ゴージャスな一日だったよ。さあ、明日もゴージャスなお宝を迎える準備をしようではないか！

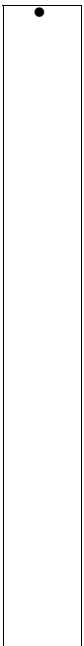
白金 （ぼそっと）もう少し普通の一日がいいんですけど…。

（剛田が優雅にポーズを決め、幕が下りる。）

脚本の時間配分

→ 全体構成

脚本は以下の々幕構成となっており、それぞれの幕が約20分程度の内容になるように設計されています。



第一幕：剛田質店の朝（約15～20分）

第三幕：緊迫の展開（約 20分）

謎の依頼人の登場から、剛田の石言葉
熱弁、そして実際に人形を使うシーンまでが
含まれます。

この幕では剛田の独特な価値観が強調さ
れ、白金のリアクションや妄想が笑いを生む
展開です。

第二幕：ダイヤモンド製のくるみ割り人形（約 20～25分）

開店準備のシーンで剛田と白金の掛け合
いを中心に、キャラクター紹介とコメディー要
素を展開。

白金の神経質な性格と剛田の優雅さの
対比がテンポよく描かれています。

警官の訪問と盗品事件の発覚、依頼人の逮捕までを描写。

緊張感とコメディを交互に織り交ぜ、観客を飽きさせない構成。

第四幕：エピローグ（約10～15分）

事件解決後の日常への回帰を描きつつ、

剛田の「コージヤス」な価値観で締めくくる。